

# SEMICON<sup>®</sup> JAPAN

## SEMICON JAPAN 2019 参加報告書

群馬大学理工学府電子情報・数理教育プログラム

小林研究室 修士1年 阿部優大

### 1. 参加イベント

SEMICON JAPAN 2019

<https://www.semiconjapan.org/jp/>

### 2. 場所

東京ビッグサイト 西展示棟・南展示棟・会議棟

### 3. 会期

2019年12月11日(木)-13日(金) 10:00-17:00

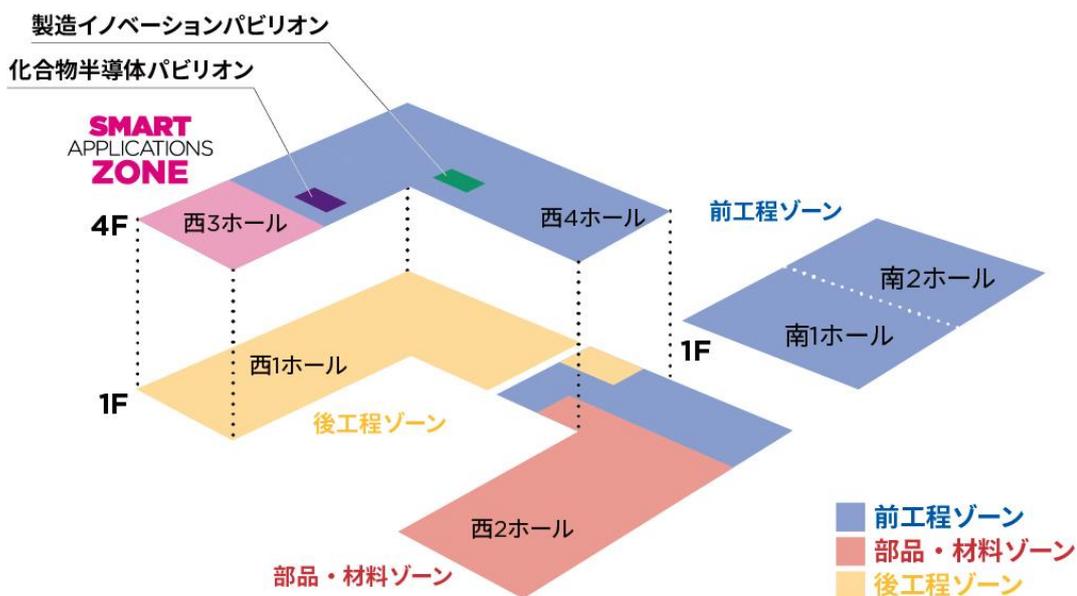


### 4. 参加イベント概要

SEMICON JAPAN は、半導体の前工程～後工程までの全工程から、自動車や IoT 機器などの SMART アプリケーションまでをカバーする、エレクトロニクス製造サプライチェーンの国際展示会である。700 社が最先端の製造技術を展示し、2 万 5000 人の参加者が、日本そして世界から集まる。次の世代に向けた大きな一歩を踏み出す原動力となる新しい出会いの場を提供する。

## 5. 参加イベント報告

私は『SMART WORKFORCE』という学生や若手エンジニア向けの特別展示・イベントで群馬大学小林春夫研究室のブースで説明者として参加し、自身の研究のポスター発表を行った。『SMART WORKFORCE』では他にも学生向けの業界ガイダンス・ブースツアーや若手エンジニア向けの講演などが行われた。私はそこで出展企業のブースを訪問し、半導体業界の仕事についてお話を伺った。半導体業界といっても前工程・後工程・テストなどで細かい過程があり、それぞれの企業が強みを持つ過程で活躍している。また、中小企業でもニッチな領域でビジネスをすることで高い利益を得る企業が多くみられた。そのため世界シェア率が高く、新規参入する企業も少ないという利点があるようだ。前回の同イベントでの説明よりも多くの企業の年収が上昇傾向にあり半導体は活気ある業界のように感じた。また、展示ゾーンは前工程ゾーン、後工程ゾーン、部品・材料ゾーン、SMART Applications ゾーンで構成され、多くの企業が最先端技術の展示を行った。ミニマルファブは非常に大きなブースで企業の展示も多かったため、やはり注目される技術であると感じた。



SEMICON JAPAN 2019 に参加し半導体業界の最近のトレンドや各企業の事業内容を知り、業界について深く理解する良い機会であった。この経験を今後の研究や就活などに役立てていきたいと思う。



## 6. 謝辞

SEMICON JAPAN 2019 参加の機会を与えて頂いた小林春夫先生、参加にあたり様々なサポートをして頂いた桑名杏奈先生、小林春夫研究室ブースにお立ち寄り頂いた皆様に深くお礼申し上げます。

